



Your complimentary use period has ended.  
Thank you for using PDF Complete.

Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

### 自己評価及び外部評価結果

事業所番号	0175200104		
法人名	有限会社 エボック		
事業所名	グループホーム ひかり館		
所在地	網走郡大空町女満別中央37番地23		
自己評価作成日	平成23年6月6日	評価結果市町村受理日	平成23年9月26日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://system.kaigoinfo-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0175200104&amp;SCD=320">http://system.kaigoinfo-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0175200104&amp;SCD=320</a>
-------------	---

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社 NAVIRE
所在地	北海道北見市本町5丁目2-38
訪問調査日	平成23年7月6日

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「和顔愛語」を基本理念に、職員一同笑顔を大切に利用者様らしさと幸せを、追及した介護に力を入れています。

広い敷地の静かな環境の中に平成17年6月に1ユニット9名の定員で開設され、昨年「和顔愛語」人には笑顔でやさしい言葉を、それは自分の幸せにもつながりますとの解りやすい理念に変更して利用者本位の介護を目指しながら、実践に繋げています。多くの利用者は、自立した日常生活を送り管理者、職員は利用者一人ひとりに気配りした食事管理によって血糖値の改善につなげながら健康管理を行い、しっかりと信頼関係で結ばれています。事業所内はいつも、温かな雰囲気であり笑いに満ち溢れ、ゆったりとした時間の中の生活環境が保たれています。居間の前には大きなテラスがあり開口部が大きく取られて明るい日差しの中で利用者は思い思いの時間を過ごしています。換気等の建物の管理がしっかりしており、居間や廊下、居室等には生活時の匂いが少なく清潔な環境にあります。地域住民とは、畑作りや、焼き肉会に参加して頂いたりと良好な関係を構築しており災害時の協力体制の構築にもつながり安心、安全に結び付いています。

#### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	避難訓練など地域住民に参加してもらい、地域との密着を図っている。	平成22年に今迄の理念を更に分かりやすくとの思いから「和顔愛語」につくり変え介護のなかでお互いに言葉に出して確認し合い、実践に生かせるように努めています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域ケア会議などの参加などで利用者等の情報交換により、地域の社会資源の活用につなげている。	町内会への加入はこれからの課題ではあるが町内会長を始め近隣住民の協力は多く菜園の管理や除雪など多岐にわたって良好な関係の構築が出来ています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	実践していません		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行っています。防火対策強化などの向上を行っています。	運営推進会議は町内会長、民生委員、町担当者、利用者家族等の出席を得て年6回開催し、行事報告や防火対策についての報告や協議がされ運営に生かされています。欠席の家族には口頭で報告していますが、今年は会議の内容をひかり館通信に掲載し利用者家族との情報の共有を更に図る予定です。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域ケア会議参加により、協力体制につなげています。	町の担当者は運営推進会議に複数人出席したり月1回の地域ケア会議などでの情報伝達等で積極的な協力体制を構築しています。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	取り組んでいます。	身体拘束について禁止の具体的な行為等の外部研修を受けています。その情報を内部で共有すべく資料を回覧し定例の全体会議で報告をして身体拘束をしないケアに努めています。	高齢者虐待防止や身体拘束についての禁止事項や弊害についての外部研修は一部職員が受け内部で報告はされていますが、新人研修や、毎年の研修計画に基づいた定期的な研修体制の構築を期待します。職員のスキルアップのために多くの機会を利用した外部、内部研修の計画実施を期待します。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	努めています。		

		自己評価	外部評価	
		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
		関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度など活用し、支援に活用しています	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	図っています	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	外部者に表せる機会が持たず、検討中	利用者の意見や要望は日常の会話の中から把握して取り入れ、また、利用者家族には月に一度のひかり館通信にて様子を伝えていきます。毎月の支払は極力持参していただきその機会を利用し会話の中から意見を把握するように努めています。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一回の定例会議を設けています。	利用者の身体状況の報告はなされていますが、日常生活の雰囲気や様子はひかり館通信のみとなっております。事業所への来訪も少なく行事への参加案内など積極的な関係構築や交流を期待します。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努めています。	
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	進めています	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	機会が持たず検討中	

		自己評価	外部評価	
		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
15	サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	努めています。		
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	努めています。		
17	○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	努めています。		
18	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	努めています。		
19	○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	築いている努力は行っています。		
20	8 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	努めています。利用者全員に支援が行き渡らないこともあるため努力しています。	知人が時折事業所を訪ねて来たりしており、利用者の今迄の人間関係を大切にするように努めています。馴染みの場所への外出の希望があれば叶えられるよう支援しています。	
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	努めています。		

		自己評価	外部評価	
		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
		関係を 経 過をフォローし、相談や支援に努めている	努めています。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々検討しています	利用者一人ひとりの思いや、希望は日常生活の中から把握するように努めています。趣味の楽しみは最大限実現できるように介護計画にも反映させ支援しています。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	努めています。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	努めています。	
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	作成しています	利用者一人ひとりがより良く生活してゆく為に必要な関係者と話し合い、介護計画を作成しサービスの提供に努めています。定期的な見直しは3カ月に一度、変更があれば随時見直しをしています。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	活かしています	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	取り組んでいます	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源を活用し、季節に応じて花見などを実施しています	
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	支援しています。	月に一度協力医の往診を受けて健康管理に役立っています。特別な受診は家族対応になっていますが、ほとんどは協力医院がかかりつけ医になっており健康維持に役立っています。

		自己評価	外部評価	
		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
		支援しています		
32	<p>○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	行っています		
33	<p>12 ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	取り組んでいます	重度化した場合や終末期のあり方は家族の同意のもと対応する事にしていきます。利用者や家族には、早い段階から説明がされています。また、職員には経験者による研修、指導が行われ、家族に安心感を与えています。	
34	<p>○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	訓練を定期的に行えないが、利用者個人に応じて緊急時の対応は確認しています		
35	<p>13 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	築いています	年に2回の防災訓練や運営推進会議にて消防署による研修が頻繁に行われています。緊急時の地域の協力体制も得られています。今後は火災以外の災害に対する対策を町と共に立てる計画です。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	<p>14 ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	しています	トイレへの声掛けは直接的な言葉は使わず誘導したり、個人用のおむつ等は直接目に触れなくするなど人格やプライバシーを損ねないように努めています。	
37	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	働きかけています		
38	<p>○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	支援しています。		
39	<p>○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	支援しています。		

		自己評価	外部評価	
		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
		食事、片付けをしている 適時声かけにより行っています	多くの利用者は自分で食事が出来る状態であり好き嫌いなく楽しく食事をしています。栄養のバランスはよく血糖値が改良されたりしており工夫された食事となっています。	
41	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	支援しています。		
42	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	主に義歯の洗浄を行っています		
43	16 ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	支援しています。	利用者一人ひとりの排泄記録をとりパターンを把握ながら、車いすの利用者以外は見守り対応して、自立に向けた支援をしています。	
44	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	支援しています。		
45	17 ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	支援しています。	平均週2回の入浴介助を基本に利用者の状況や希望に合わせて支援をしています。入浴が難しい利用者には清拭をして清潔を保てるように支援しています。	
46	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	支援しています。		
47	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	努めています		
48	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	支援しています。外出や、手作業など		

		自己評価	外部評価		
		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
		いよつな場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域のみなと協力しながら出かけられるように支援している	支援しています。	広い敷地や牧草畑の町有地が隣接していて天気の良い日は散歩するには快適な環境にあり希望する利用者には外出支援をしています。また芝桜の咲く季節になると希望者でドライブに出かけています。	利用者のほとんどは身体能力が高く自力歩行が可能であり更に多くの外出の機会を設ける事を期待します。選択肢を多くして利用者の意欲を高める事を期待します。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	主に電話ですが、支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	工夫はしていませんが、外出時の写真を貼るなど、心地よく過ごせる空間づくりには努めています。	機能的にまとまった造りであり居間の開口部は広く取られており広く感じられる空間づくりをしています。テラスも広く、憩いの場となるように配置されています。また、室温管理や換気に配慮しており快適に過ごせるように配慮しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアに外出時の写真を貼るなど、利用者様の共通の話題づくりが出来る場所作りに努めています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の安全。便利さを検討しながら、家具配置など行っています。	利用者一人ひとりが思い思いに暮らしやすいように家具や仏壇を置いたり趣味の物を飾り居心地の良い空間づくりをしています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	工夫までは行えていませんが、残存機能を活かしたケアを心がけています。		